

Ⅳ-35

平成10年度夏季札幌市都心循環バス実験について

○北海道大学 正会員 高野伸栄
 北海道大学 学生員 品田千尋
 北海道大学 正会員 加賀屋誠一

1. はじめに

大都市都心部においては交通渋滞が慢性化し、それらの解決策が模索されており、自動車から公共交通へのシフトは、地球的環境問題への取組みの動きの中で、これまで以上に強く求められている。一方、モータリゼーションが進展する中で都市の活動領域は都心部から周辺部へ移行し、都心部の商業、業務活動は次第に停滞する傾向にある。これに対する都心部の活性化は都心商店街の経営だけではなく、都市の存在そのものにとって極めて大きな課題である。

このような状況を背景として、札幌市においてはTMA（交通混雑マネジメント協会：Transportation Management Association）と位置づけられる都心交通対策実行委員会を中心として都心交通の適正化に取り組んできたところであり、平成9年度に引き続き、平成10年度においても都心循環バスの社会実験が行われている。本稿は平成10年度夏季都心循環バス実験の実験概要及びその結果について報告するものである。

2. 実験概要

昨年度の実験結果を踏まえ、路線や料金の設定に改善を加えるとともに、夏季に実験を実施し、都心部の便利な移動手段として定着するよう運行期間を拡大し下記のように実験運行する。

- ①運行日：計27日間
 - a) 平成10年7月11日(土)～26日(日)の土、日、祝日、
 - b) 平成10年8月土、日及び3日(月)～10日(月)の平日
 - c) 平成10年9月1日(火)～15日(祝)までの土、日、祝日
- ②運行主体：札幌市交通局
- ③路線概要：7月及び8月の路線と、9月の路線とを異なる路線で実験運行する。(図2、3)
 - a) 7月及び8月実験(2系統)
 - i) 駅前一すすきの線：3.3 km、13 停留所、所要時間 20 分(2台)

- ii) 駅前一大通公園線：4.0 km、13 停留所、所要時間 30 分(3台)
- b) 9月実験(2系統)
 - i) 駅前-テレビ塔回線：3.3 km、11 停留所、所要時間 20 分(2台)
 - ii) 駅北口-道庁回線：4.4 km、14 停留所、所要時間 30 分(3台)
- ④運行概要：10時～20時まで、10分間隔
- ⑤料金大人100円、子供50円。一日券(大人300円、子供150円)
- ⑥情報発信：車内にリーフレットポケットを設置し、各種リーフレットによりバス利用者へ都心情報を提供する。
 リーフレットの種類：都心循環バスルート図、イベント・ギャラリー情報、観光・ショッピング情報、その他

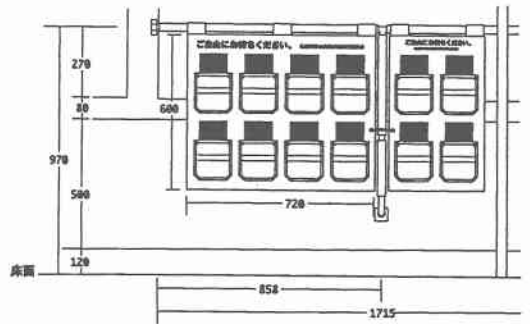


図1 リーフレットポケット

3. 実験結果

(1) 利用実績

①利用状況

実験運行(27日間)の総利用人数は、17,864人で1便あたり平均5.6人の利用があった。路線別にみると、7・8月路線については駅前一すすきの線の利用人数が8,072人、1便あたり平均6.4人、駅前一大通公園線の利用人数は6,633人、1便あたり平均5.1人であった。また、9月路線については、駅前-テレビ塔回線の利用人数が1,373人、1便あたり平均4.5人、駅北口-道庁回線の利用人数は1,786人、1便あたり平均5.9人であった。

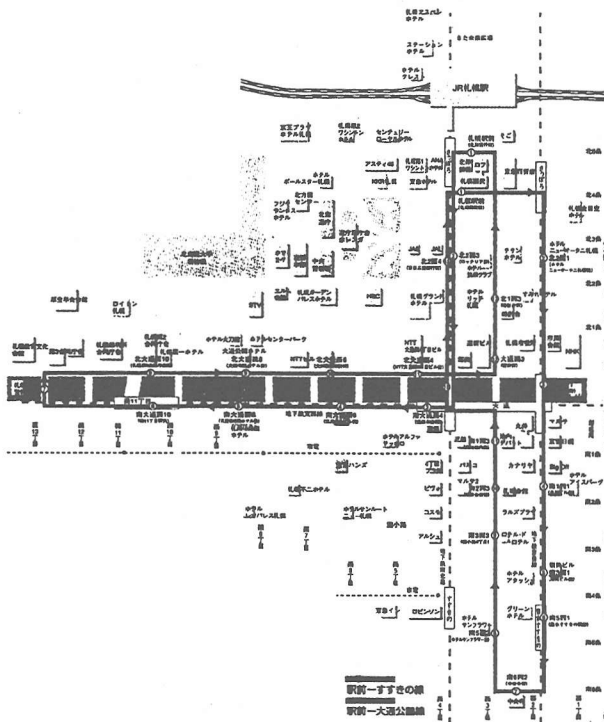


図2 7月・8月路線図

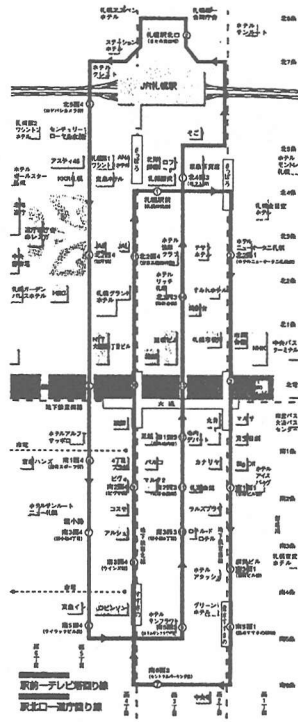


図3 9月路線図

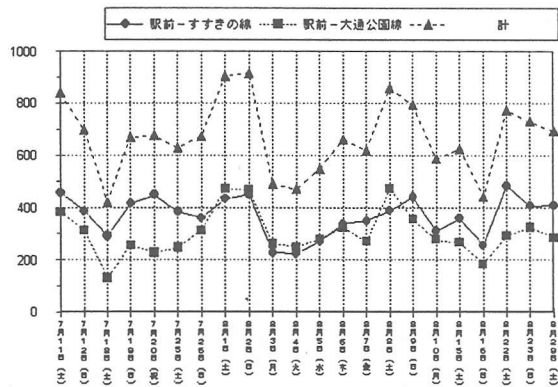


図4 7・8月乗車人員

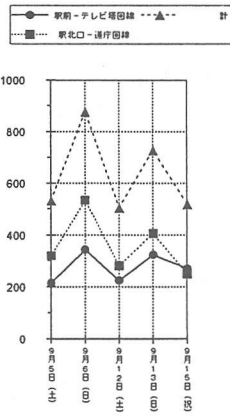


図5 9月乗車人員

表1 利用実績総括表

| 日付 | | 乗車人員 (人) | 運行便数 (便) | 1便当たり (人/便) | 予定便数 (便) | 便数増減 (便) |
|--------------|-----------|-------------|-------------|----------------|-------------|-------------|
| 7月計 (7日間) | 駅前-すすきの線 | 2737 | 418 | 6.5 | 427 | -9 |
| | 駅前-大通公園線 | 1864 | 424 | 4.4 | 427 | -3 |
| | 計 | 4601 | 842 | 5.5 | 854 | -12 |
| 8月計 (9日間) | 駅前-すすきの線 | 3621 | 519 | 7.0 | 549 | -30 |
| | 駅前-大通公園線 | 3113 | 549 | 5.7 | 549 | 0 |
| | 計 | 6734 | 1068 | 6.3 | 1098 | -30 |
| 7・8月計 | 駅前-すすきの線 | 6358 | 937 | 6.8 | 976 | -39 |
| | 駅前-大通公園線 | 4977 | 973 | 5.1 | 976 | -3 |
| | 計 | 11335 | 1910 | 5.9 | 1952 | -42 |
| 9月計 (5日間) | 駅前-テレビ塔回線 | 1373 | 306 | 4.5 | 306 | 0 |
| | 駅前-通行人回線 | 1786 | 306 | 5.8 | 306 | 0 |
| | 計 | 3159 | 610 | 5.2 | 610 | 0 |
| 平日 (6日間) | 駅前-すすきの線 | 1714 | 324 | 5.1 | 366 | -32 |
| | 駅前-大通公園線 | 1656 | 340 | 4.9 | 366 | -26 |
| | 計 | 3370 | 674 | 5.0 | 732 | -58 |

②都心循環バス乗車目的

都心循環バスを利用した目的は買物が61.2で最も多く、ついで娯楽19.7%、観光15.9%の順になっている。

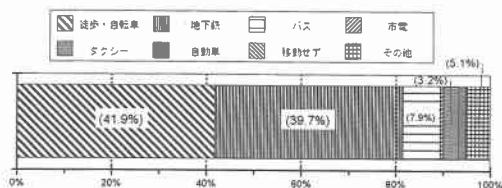


図6 循環バスがない場合の交通手段

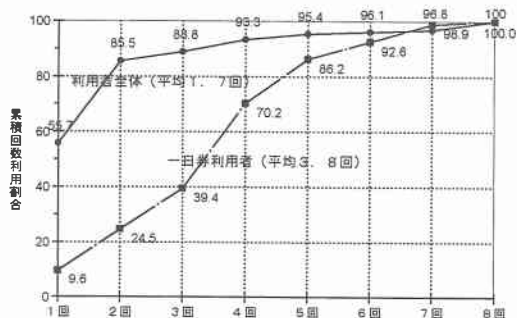


図7 利用回数

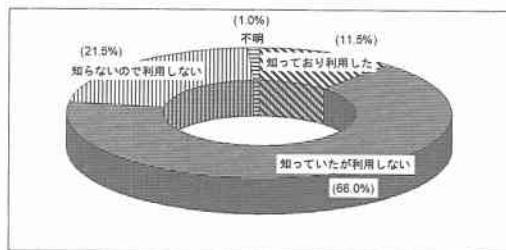


図8 1日券認知度

(2) OD調査結果

OD調査は7月26日(日)、8月6日(木)、7日(金)、9日(日)、22日(土)、9月12日(土)、13日(日)の計7日間にわたって行った。

①OD流動状況

ODの状況は駅前一すすきの線では、「南1西3」→「札幌駅前」が平日、休日とも最も多く(それぞれ約17%、13%)、駅前一大通公園線では「札幌駅前」→「南大通西4」が平日、休日とも最も多い(それぞれ約11%、17%)。また、駅前-テレビ塔回線については、「札幌駅前」→「大通西1」、「南1西1」が最も多く(それぞれ11%)、駅北口-道庁回線については、「南1西3」→「北4西3」が最も多くなっている。(約10%)

バス停別には駅北口-道庁回線を除き、発地・着

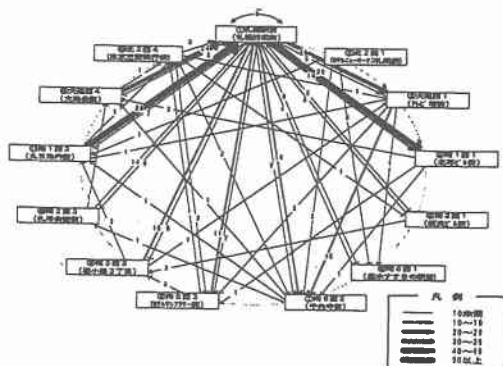


図9 駅前一すすきの線(平日)

③循環バスがない場合の交通手段

都心循環バスが運行していなかった場合、今回利用した区間の移動方法は徒歩が41.9%、ついで地下鉄が39.7%、路線バスが7.9%となっている。

④利用回数

利用者全体の1日あたりの利用回数は1回の利用が55.7%、2回が29.8%、3回が3.3%となっており、平均では1.7回である。

また、1日券利用者の平均利用回数は3.8回であった。

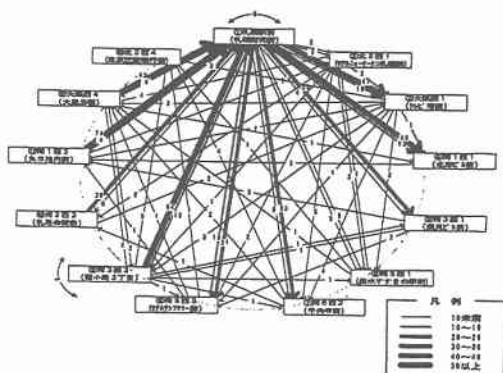


図10 駅前一すすきの線(休日)

地とも「札幌駅前」が最も多く、駅北口―道庁回線については、発地では「大通西3」、「南1西3」が、着地では「北4西3」が最も多くなっている。

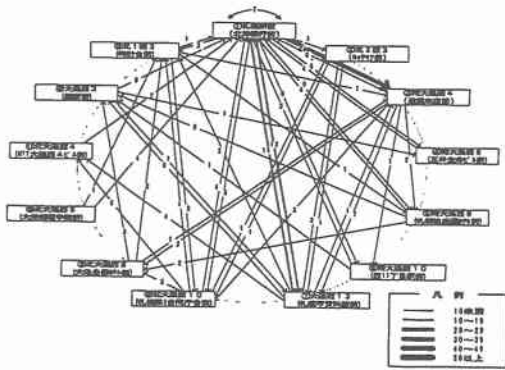


図11 駅前―大通公園線（平日）

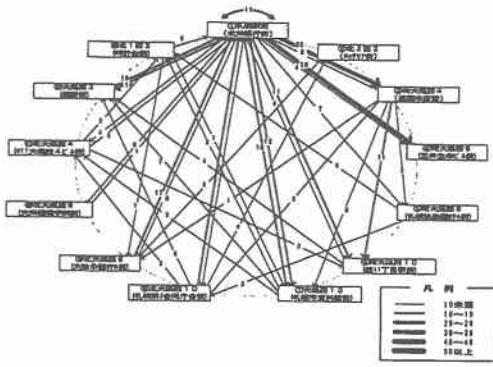


図12 駅前―大通公園線（休日）

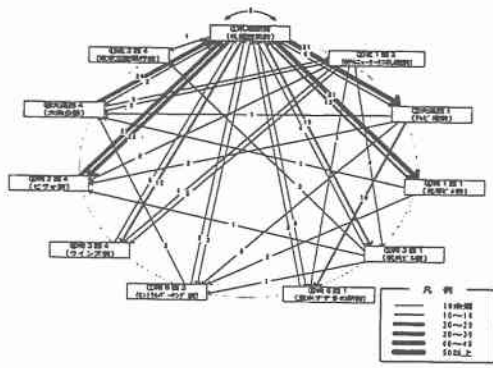


図13 駅前―テレビ塔回線

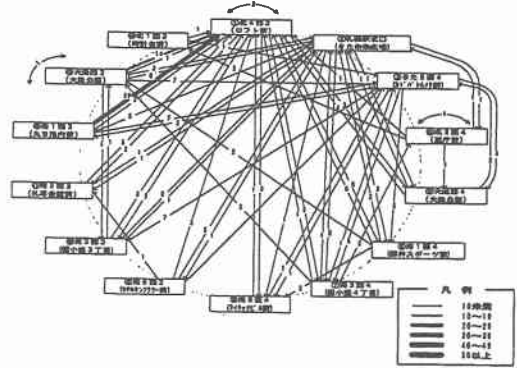


図14 駅北口―道庁回線

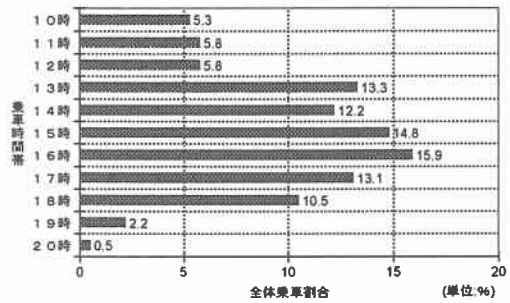


図15 時間帯別乗車割合

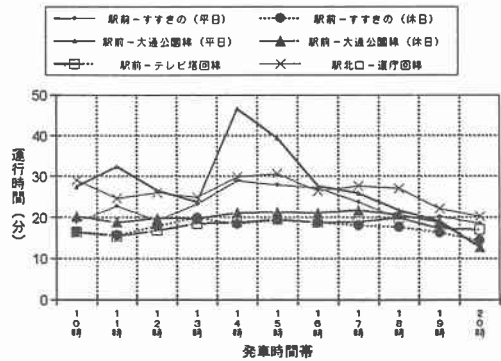


図16 時間帯別運行時間

②時間帯別乗車割合及び運行時間

時間帯別乗降者の割合では12～18時が約85%であり、10時～11時11%、19～20時は3%にすぎない。

運行時間については全般的には概ね予定通りの運行がなされたが、平日では駅前―すすきのの線で各時間帯で遅れを生じる結果となった。